

## 論述試験と面接試験の共通点を知って、実技試験の一挙合格を勝ち取る講座

論述問題から実技試験の考え方と論述解答の書き方を学ぶとともに、ロープレを行うことで、面接試験での問題把握や具体的展開を捉える

日時 2025年 10月 19日(日) 9:30~16:30	会場:東京都立産業貿易センター 台東館 浅草駅下車	受講料 (税込)	会員 15,000	一般 20,000
講座の 特色	<p>論述試験では、問題文中に示された事例相談者の面談技法のクセを見立て(問題把握力)、そこから方策(具体的展開)を解答していきます。面接試験では、関係構築力を用いた相談者とのやり取りから事例相談者の問題を把握し、目標を設定したうえで、方策を展開していきます。「論述試験は実技試験である」という特徴を捉え、論述試験の解答へのアプローチを応用して、面接試験の合格に向けた対策を一挙に行います。</p>			
<p>1級の実技試験の合格には、論述試験と面接試験の両方で基準点に到達(面接試験では、評価区分ごとに「所要点」をクリア)する必要があります。論述試験は、文字による試験であり、事例相談者とのライブではないので、抵抗も目標の不同意もありません。ですから、各問での「問題」の意味を的確に捉え、その問題の内容とそれを解決するための方策を明確にして、決められた枠・行数のなかで、キーワードを盛り込みながら文章で解答します。</p>				
<p>したがって、論述試験での問題の捉え方や方策の実施方法は、それを面接試験でのやり方に応用することで、面接試験合格に近づくことができます。本講座では、午前中に論述試験合格対策として、各問で問われている内容と、それに対して、何をどう記述すれば得点につながるかを学びます。</p>				
<p>午後は論述試験のケースを基礎に、面接試験用に組み替えたケース記録でロープレを行い、論述試験での見立てや方策を活かした面談を目指します。午前中に見立てや方策を解答用紙に記述していますので、午後のロープレでは、事例相談者とのライブを前提とした関係構築を意識し、言語・非言語を使って表現する方法、気づきを促す方法、目標に合意してもらうための方法、方策を展開していくための方法に応用します。</p>				
<p>この講座では、「1級技能士に必要なスキル」を厚労省がどのように捉え、試験でどのように評価しようとしているかを把握し、それを展開します。面接試験の試験実施概要や評価区分に記載された内容を正しく理解し、それを実践することが試験合格の王道であり、近道です。この講座は、合格に向けた勉強を始める人が「1級指導者」の意味を正しく理解し、論述試験の解答と面接試験のロールプレイや口頭試問でどう対応すると合格できるのかを把握していただくためのものです。</p>				